

広報



うらやす

主な内容

特集 大切なひとを守るために 2・3面
.....
市営自転車駐車場定期利用の申請 ほか 8面

発行/浦安市
所在/〒279-8501 千葉県浦安市
猫実一丁目1番1号
編集/市長公室広聴広報課
☎047-351-1111(代表)
<http://www.city.urayasu.chiba.jp>



「新生浦安」に 向けたまちづくり

浦安市長
松崎 秀樹

新玉の年を迎えましたが、本市ではいまだ昨年3月11日の東日本大震災の傷跡を残しています。被害を受けられた方々に、心からお見舞い申し上げます。

市では、現在、この震災による経験を踏まえ、新しい価値を創造する「新生浦安」の指針となる復興計画の策定に取り組んでいます。

計画期間を復旧期、再生・創生期の2期に大別し、「市民生活の早期の復旧・再建」、「より安全で安心な暮らしを支えるまちづくり」などの5点を復興の目標に掲げ、抽象論に止まらずハード・ソフトの両面から具体的事業も盛り込み策定してまいります。

広域かつ甚大な被害が発生している道路・下水道などの公共土木施設については、浦安市液状化対策技術検討調査委員会の検討を踏まえ、各事業主体が一丸となって、段階的に復旧・復興を進めます。

また、液状化による噴砂や震災で発生した瓦礫の処理が課題となっていることから、その噴砂や瓦礫を利用して築いた土塁に、多種類のポット苗を高密度で植樹し、市民とともに時間をかけて森へと育む「緑の防潮堤づくり」に取り組み、災害に強いまちづくりを推進します。

また、未曾有の大災害から復興を成し遂げていくためには、従来とは違った制度設計や手法を取り入れることが不可欠です。本市と明海大学や各企業との産・官・学共同により、「浦安環境共生都市コンソーシアム」を立ち上げ、各企業の先端技術やノウハウを活かし、利用者に優しい生活サービスの導入も視野に入れた地域一体型の持続可能なまちづくりに取り組みます。

この震災により広範囲にもたらされた液状化被害からの復興は、本市の最重要課題であり、その道は決して平坦ではありません。しかし、地域社会のあらゆる構成主体が連携して復興の主体となり、その持てる力を結集することで、この浦安は液状化被害からの復興モデルとなり得るものと確信しています。

結びに、皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、この1年が皆様にとりまして希望に満ちた素晴らしい年になりますことを心からお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。

謹賀新年



新春を迎えて

浦安市議会議長
辻田 明

平成24年の年頭にあたり、市議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、ニュージーランドの地震やタイでの大規模な水害など世界各地で大きな自然災害の発生が続いた一年でした。日本においても3月11日に発生した東日本大震災により多くの尊い命が犠牲になりました。

本市におきましても市制施行30周年という節目の年でありましたが、東日本大震災に伴い、市域の4分の3を超える規模の液状化現象の発生により甚大な被害が生じ、特にライフラインの被害は市民生活に多大なる支障をもたらしました。被災された皆様には、心からお見舞いを申し上げます。

この度の震災では、自治会や集合住宅の管理組合、ボランティアの方々など、たくさんの方々の「人の輪」の力が復旧の一番の原動力となりました。また、自衛隊や多くの自治体からの職員の派遣、市内の企業や団体からもたくさんの支援が寄せられました。地域での人と人とのつながりや支援に感謝し、「絆」を確かめ、結び直そうとする思いは、復興に向かう浦安を活気づける大きな力となっています。

新たな浦安市の再生に向け、様々な分野で復興への活動が進められておりますが、本年は、ロンドンで夏季オリンピック・パラリンピックが開催され、選手の活躍が復興に向かう日本を勇気づけてくれることを願っております。

浦安市議会では、今まで以上に災害に強く、市民の誰もが安心して住むことができる浦安のまちづくりを進めていくことができるよう、「東日本大震災復旧・復興に関する特別委員会」を設置しました。新年を迎え、気持ちを新たにし、議員一同浦安市の復興のために全力で取り組んでいく所存であります。

最後になりましたが、新しい年の平穏と、皆様のご健勝を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

